

看護

DX

多職種
連携

～つながりが生む **新**しい看護のかたち～



第26回 福岡県看護学会

開催日 2027年 **1月23日** 土
9時30分～16時30分

開催場所 ナースプラザ福岡

特別
講演

情報と人がつくる看護の未来をDXで加速する
{(情報+人)×看護}DX

【講師】美代 賢吾 氏

東京大学大学院医学系研究科
医療AI・デジタルツイン開発学講座 特任教授
国立健康危機管理研究機構 システム基盤整備局
医療情報管理部 部長 (※令和8年2月時点)

演題募集期間 ※福岡県看護協会会員に限る

2026年 **4月1日**(水) ～ **5月31日**(日)

事前参加申込期間

2026年 **8月1日**(土)～**11月1日**(日)

参加費及び詳細については、当協会のホームページをご覧ください。



公益社団法人
福岡県看護協会

〒812-0054 福岡県福岡市東区馬出4-10-1 ナースプラザ福岡
TEL 0570-200-605 (ナビダイヤル) <https://fukuoka-kango.or.jp>



第26回 福岡県看護学会



～つながりが生む **新**しい看護のかたち～

近年、看護の現場では、少子高齢化の進行や疾患の複雑化により、病院内にとどまらず、在宅看護の分野でも、より多職種による連携が求められています。さらに現在は、AIやICTを活用したDX（デジタルトランスフォーメーション）が急速に進み、医療や看護の在り方そのものが大きく変化しつつあります。

このような中、看護職は、「ケアの提供者」としての役割にとどまらず、多職種をつなぐ「ハブ」として、また、現場の知を活かしたDXの推進者としての役割も担っています。

本学会では、「看護 × DX × 多職種連携」を軸に、一見異なって見える分野の要素を連携させ、活用していくことを提起し、その姿勢をポスターの中で様々な形のパーツを組み合わせる新たな形を作りだすことができる積み木で表現しました。

看護におけるDXの可能性を含め、テクノロジーと専門職の知をどのように融合し、より良い看護の未来を創るのかを参加者とともに考える場としたいと思います。

特別講演

情報と人がつくる看護の未来をDXで加速する {(情報+人)×看護}DX

【講師】 美代 賢吾 氏

東京大学大学院医学系研究科
医療AI・デジタルツイン開発学講座
特任教授

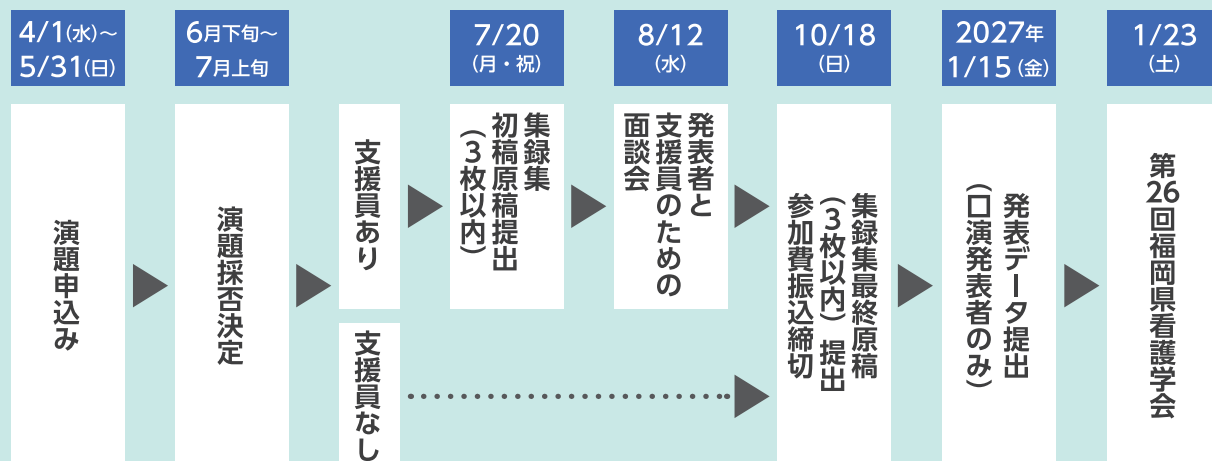
国立健康危機管理研究機構
システム基盤整備局
医療情報管理部 部長
(※令和8年2月時点)



今回は、看護職であり、「医療の実践」と「医療の研究」を太く繋ぐための情報基盤の構築・開発・運用の研究を推進され、国立高度専門医療センターにおいて情報担当責任者も務められた美代賢吾氏をお招きし、看護におけるDXの可能性をはじめ、テクノロジーと専門職の知をどのように融合し、より良い看護の未来を創造していくかについてお話ししたいと思います。

演題申込みから発表までの流れ

※原稿データおよび発表データは、すべてWebまたはメールでの提出となります。



演題申込みおよび参加申込み方法は、福岡県看護協会ウェブサイトをご確認ください。

福岡県看護協会ウェブサイト <https://fukuoka-kango.or.jp>

